

「鈴鹿中央総合病院増改築工事起工式」を開催しました

晴天に恵まれた平成 29 年 10 月 31 日（火）、鈴鹿中央総合病院増改築工事の着工に先立ち、起工式を開催しました。

当日は、病院関係者、末松則子鈴鹿市市長、野間芳実鈴鹿市議会議長をはじめ、事業に協力いただいている皆様、安塚町および地子町の総代にも出席していただきました。

式典では、地鎮行事のあと病院関係者と来賓の方々による玉串奉奠を行い、工事の安全を祈願しました。

式典後、J A 三重厚生連経営管理委員会の谷口俊二会長より関係者の方々へ、今日までの協力について謝辞があり、最後に長期間にわたる工事に対する地元の方々へのお願いが述べられました。また来賓の末松則子鈴鹿市市長、野間芳実鈴鹿市議会議長からも祝辞をいただきました。

鈴鹿中央総合病院は、平成 5 年に現在地に新築移転し 20 年以上が経過しました。地域の医療ニーズや効率性を考慮し、増改築・改修工事を進めています。売店、食堂、研修室等に使用していた 3 階建て厚生棟を撤去し、新しく 4 階建ての新棟が建設されます。

今回の工事にて、内視鏡室の拡充による消化器疾患診療の充実、外来化学療法室の拡張と必要性の高い緩和ケア病棟の増設を行い、地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たします。また、救命救急室が拡充され救急処置の迅速な対応が可能となります。

工事に際し、患者さまや周辺地域住民の皆さまには、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

【外観イメージ図】





齋鎌



齋藤理事長・谷口会長・森院長

玉串奉奠



濱田名誉院長

来賓挨拶



末松則子鈴鹿市市長



野間芳実鈴鹿市議会議長